

グローバル人材として世界基準で考え社会の第一線で活躍する人物を育成する 「グローバル教養学位プログラム “STAGE”」を 2024 年 4 月開設予定（設置構想中）

甲南大学は、創立者 平生釰三郎が掲げた「人物教育の率先」を建学の理念とし「世界に通用する人物」を育成するためグローバル教育に力を入れてきました。

これまでの伝統と革新を生かし、グローバル教育の新たな展開として「グローバル教養学位プログラム」、英語名称 STAGE (Special Track for Accelerated Global Education) を 2024 年 4 月に設置します（設置構想中）。

このプログラムは、文部科学省が定める「学部等連携課程制度」を活用し、学部やセンター等の組織の枠を超えて世界を知る教員陣により、グローバルキャリアを志す 1 学年 25 名のための特別な学位プログラムとして実施する予定です。

「グローバル教養学位プログラム “STAGE”」は、グローバル人材として世界基準で考え、社会の第一線で活躍する人物を育成するグローバル教育プログラムです。“STAGE”で学ぶ学生は、学部学科と同じように「“STAGE”を実施する基本組織（※名称検討中）」に所属し、4 年間の学生生活を同じ志を持つ仲間とともに切磋琢磨して学び、「学士（グローバル教養）」の学位を取得します。

予測困難といわれる時代、多様な価値観が錯綜するグローバル社会で活躍するために、次の力を身につけたグローバル人材として社会に出ていくことが重要だと私たちは考えます。

1. 文化や言語の壁を越えて人々と協働するための言語運用力と異文化調整力
2. 新たな価値創造や課題解決を行うための政策・企画立案力
3. データサイエンス・AI、ICT の活用などを含めた文理横断的な知識と技能

これらを養うために、「グローバル教養学位プログラム “STAGE”」では、「複数言語圏へのダブル留学」を卒業要件のひとつとするとともに、「複数言語の運用力強化」、「社会科学（経済・法・政治・経営）」、「グローバル実践 PBL」、「データサイエンス・AI 等」を幅広く組み合わせて学びます。

学 位	キ ャ ン パ ス	入 学 定 員	収 容 定 員
学士(グローバル教養)	岡本キャンパス	25人	100人

（プログラムの特徴、概念図、卒業後の進路と次ページ以降をご参照ください）

STAGEの4つの特徴

01

複数言語圏への ダブル留学

複数の言語圏で学び、暮らす 2か国以上へ旅に出よう

複数言語圏への「ダブル留学」を卒業要件として、異なる言語圏での留学や生活を体験し、異文化に対する思考を養います。大学在籍中に複数の外国語によるコミュニケーション能力を高め、留学によって現地の生活空間に身を置くことで、さまざまな国の人々と意思疎通を図り、異文化に触れる経験をするのは重要です。「ダブル留学」を通して、異文化を単に比較し相違点に気づくだけでなく、異なる文化背景を持った人々や社会に対する寛容性と、価値観の違いに起因する様々な問題解決のための能力を育てます。

02

入学から卒業まで STAGEのゼミ

仲間と切磋琢磨し、グローバル人材へ STAGEのゼミ

1年次から4年次まで、少人数クラスのゼミを必修科目としています。1学年定員25名に対して、11名の教員陣がアカデミックアドバイザーとして、チーム体制で指導にあたり、入学から卒業までみなさんの成長を支えます。ゼミでは、自らの「ダブル留学の計画を考え発表」、「世界のニュースを基にしたワークの実施」、「留学中に海外からゼミ参加」、「国際交流イベントの企画・実施」、「外国人留学生や学外の企業・自治体等とプロジェクト」、「海外大学とのオンラインで接続による共同授業」など、刺激と挑戦に溢れた取り組みを実施します。

03

社会科学、国際 データサイエンス・AI等 幅広い学び

グローバル人材になるための幅広い学び

（社会科学・国際理解）

経済学、法学・政治学、経営学の幅広い知識は、課題解決につなげる政策の企画・策定に関わる上で必要です。また、グローバルに活躍するためには、世界が直面している課題を学び国際社会を理解することも重要です。キャリアプランの実現に向けて、社会科学・国際理解を幅広く学びます。

（データサイエンス・AI）

統計・データサイエンス・AI等を活用して、地域課題等の解決ができる人材になる素養を身につけることを目標に、リテラシーから応用基礎レベル相当までを学習することができます。また、情報倫理やセキュリティ問題についても必要な知識を得る科目も配置します。

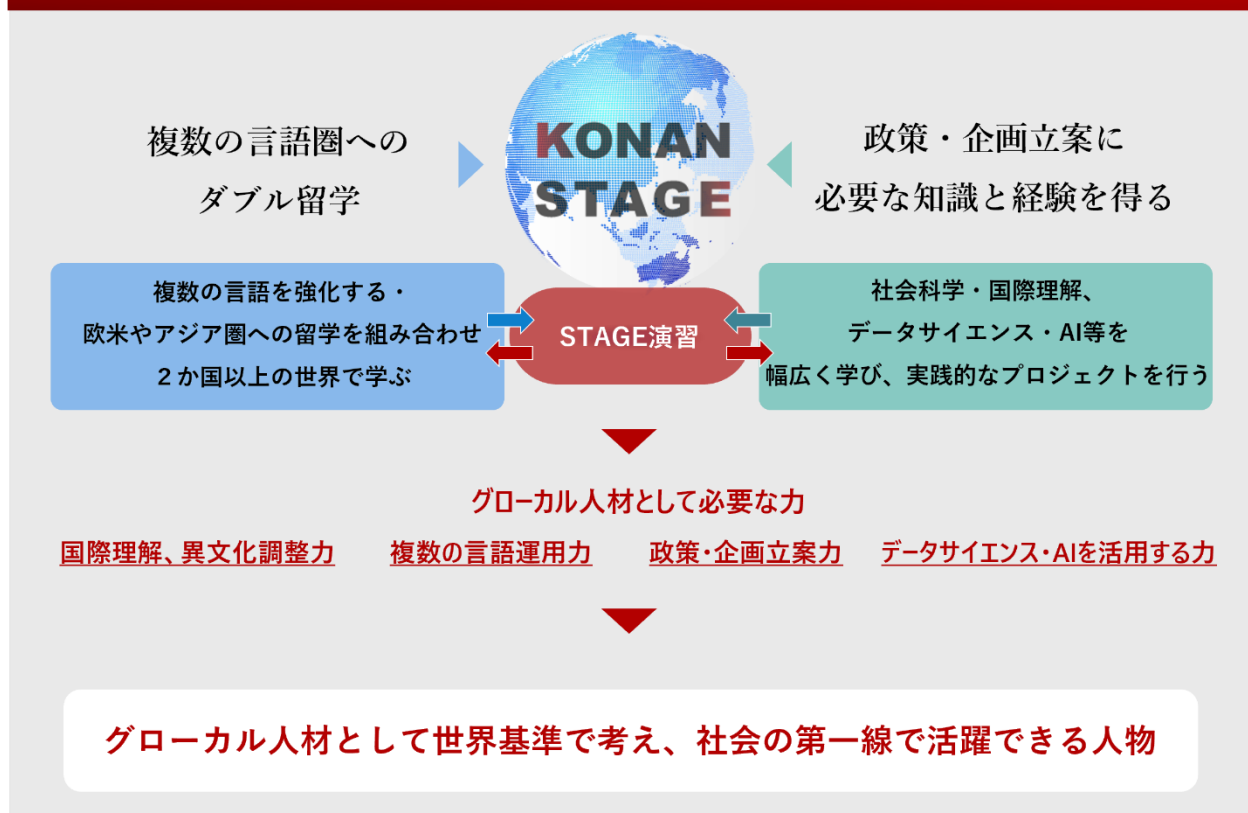
04

企業・行政等 連携による グローバル実践PBL

地域や企業が抱える実践的な課題に グローバルな視点から解決に取り組む

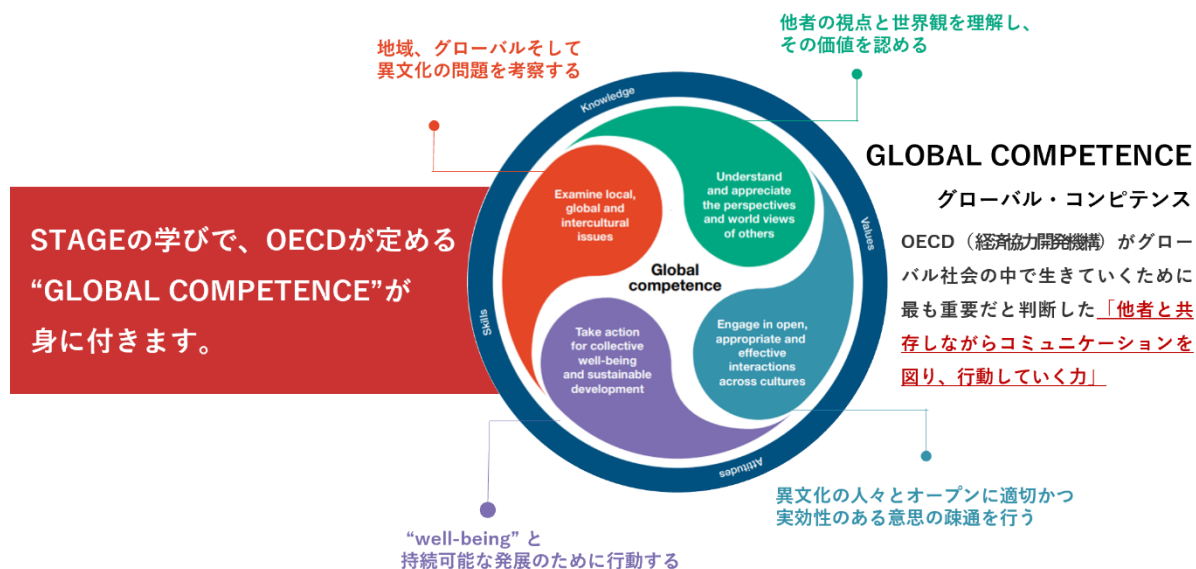
企業や行政等から課題を受け、グローバル力の発揮によって解決を目指すグローバル実践PBL科目を配置しています。留学での経験や社会科学の知識、データサイエンス・AI活用力を活かし、地域や企業が抱える課題解決に取り組みます。

グローバル教養学位プログラム「STAGE」概念図



“STAGE”では、「複数言語圏へダブル留学」を卒業要件のひとつとするとともに「複数言語の運用力強化」、「社会科学（経済・法・政治・経営）」、「グローバル実践 PBL」、「データサイエンス・AI 等」を適切に組み合わせて学びます。世界基準で考え、行動できるグローバル人材として、キャリアを切り拓いていくことに力点を置いています。また、“STAGE”の学びで、OECD（経済協力開発機構）が定める“GLOBAL COMPETENCE”を身につけることができます。

GLOBAL COMPETENCE



CAREER



卒業後は、外国語運用能力と多様性の受容・異文化調整能力、データサイエンス・AI 活用能力、課題解決のための企画立案・提案力を活かし、グローバル人材として社会の第一線で活躍することを想定しています。

【参考】

<学位プログラムについて>

2018 年に文部科学省が取りまとめた「2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン」では、変化が激しい社会において、分野を越えた専門知の組み合わせが必要とされていることから、学部等の組織の枠を越えた学位プログラムを設置可能とし、社会のニーズに対応した幅広い分野からなる文理横断的なカリキュラムに積極的に取り組むことができるようにすることが提言されました。この提言に基づき、2019 年には関連法令が改正され、従来の学部学科の組織の枠を超えた学位プログラムの実施が可能となる「学部等連携課程制度」が整備されました。

《プレスリリース全体に関するお問い合わせ先》

甲南学園広報部

〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1

電話 078-435-2314 FAX 078-435-2546 E-mail: kouhou@adm.konan-u.ac.jp

《本件に関するお問い合わせ先》

甲南大学全学教育推進機構事務室

電話 078-435-2544 E-mail: gs@adm.konan-u.ac.jp

プレスリリース配信先：兵庫県教育委員会記者クラブ、神戸市政記者クラブ